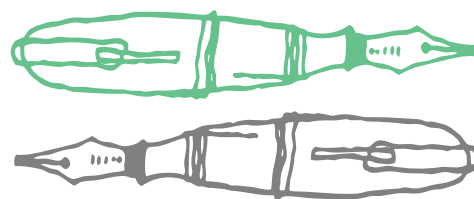


先人から受け継いだものを 後世へどう継承していくか



森 林 官 か ら の 手 紙

米代東部森林管理署 上小阿仁支署 小沢田森林事務所

柳谷 秀喜

Hideki Yanagiya

私の勤務している小沢田森林事務所は、秋田県のほぼ中央、北秋田地区の南西に位置する上小阿仁村にあります。森林事務所は国道285線沿いの村役場や道の駅かみこあにのほど近くに 있습니다。上小阿仁村は南北に長い山間の村で、秋田市の太平山に源を発する小阿仁川が村の中央を北に流れ、五反沢川と仏社川等の支流と合流し、米代川へと流れていきます。上小阿仁村の総面積は25,682haですが、その9割以上が山林で占められています。昔から林業及び木材産業が重要な位置を占めていました。

また、山林の国有林率も73%と非常に高く、木材の供給や森林の利用等を通じて、国有林との関わりが深い地域です。上小阿仁村は藩政時代から「天然秋田杉の里」として広く知られており、「秋田杉」も阿仁鉾山の御用木として珍重されてきました。もう一つ有名なのが、コアニチドリです。大正8年に発見されたラン科の多年草の植物で、その名は、最初の発見地である上小阿仁村の小阿仁川に由来し、県立自然公園の太平山（標高1,171m）山頂付近に自生しています。花は極めて小さく、淡い紅紫色の部分と白色の部分があり、小さなチョウのような形状をしています。

さて、小沢田森林事務所の主な業務として、生産・造林請負、林道改良工事の監督業務、その他に林野巡視や各種調査、イベント等があります。管内には自然観察教育林や姫ヶ岳といった特異景観の山々があり、地元住民のみならず、県内外

から多くの人々が訪れます。

特に、小沢田管内には、林野庁「森の巨人たち100選」の一つに選ばれた樹齢250年の天然秋田杉「コブ杉」があり、多くの観光客が訪れ、イベントや教材等に活用されています。昨年6月には地元上小阿仁小学校3年生の児童10名が、総合的な学習の時間の一環で訪れました。コブ杉のある上大内沢自然観察教育林は720本もの天然秋田杉の巨木が郡立し、コブ杉はその中で一際奇妙な形をしており、古くから地域の御神木として崇められてきました。当日はあいにくの雨でしたが、子どもたちは初めて見る天然秋田スギについて、支署職員の説明を聞きながら熱心に学んでいました。また、上小阿仁村村民は森林・林業に対する関心が非常に高く、今年5月に上小阿仁村仏社村有林において全村植樹祭が開催され、村民や地元小学生及び業界関係者等、約100名が参加しました。参加した児童達に支署職員も指導をしながら一緒にサトウカエデの苗木100本を丁寧に植え付けました。

上小阿仁支署管内には今回紹介した天然秋田杉（コブ杉）やコアニチドリの他に、奥羽山脈西部森林生物遺伝資源保存林や森吉山クマゲラ特定動物生息地保護林等の学術上貴重な森林が多く存在しています。祖先や先人達から受け継がれたものを大切に、後世へどう継承していくか、適切な保全管理がこれからの国有林にとって重要な事だと感じています。



コアニチドリ



コブ杉



地元小学生のコブ杉観察